

令和6年度在宅医療エキスパート薬剤師人材育成セミナー実施要領

在宅医療や施設・居住系介護サービスの需要が増大する中、薬剤師・薬局は地域包括ケアシステムを担う一員として、医療機関等の関係機関と連携しつつ、その専門性を発揮し、患者に安全かつ有効な薬物療法を切れ目なく提供する役割を果たすことが求められています。

また、薬剤師は、調剤時に限らず、必要に応じて継続的かつ的確に患者の薬剤の使用状況の把握や服薬指導を行うことが求められています。さらに、令和4年の診療報酬改定で導入されたリフィル処方箋による調剤に際しては、患者の服薬状況等の確認を行い、調剤の可否を判断するとともに、処方医への情報提供を行うこととされています。

本セミナーでは、生体シミュレーターを用いたバイタルサインの測定や症例検討等を通じて、薬剤師に求められるフィジカルアセスメントや薬効評価・副作用モニタリング等の能力を習得し、在宅医療の質の向上に資することを目指します。

- 日時
第1回 令和6年12月 1日(日) 13:00～16:00
第2回 令和6年12月15日(日) "
※いずれの回も同一のプログラムです。ご都合の良い日時にお申し込みください。
- 場所
ふくしま医療機器開発支援センター 2階 研修室(郡山市富田町字満水田27番8)
※ご来所にあたってのルート詳細は、以下のホームページをご覧ください。
(URL: <https://fmddsc.jp/access/>)
- 主催
福島県
- 後援
一般社団法人福島県薬剤師会
- 対象
薬局、医療機関に勤務している薬剤師
※在宅医療の経験の有無は問いませんので、初任者・興味のある方はぜひ御参加ください。
- 定員
各回20名程度
※参加希望者多数の場合は、参加者の調整をさせていただく可能性があります。
また、参加希望者多数の場合は、これまでのセミナー未受講者を優先とします。
- 参加費
無料
- 申込み方法
下記のWebサイト「ゆびナビぷらす」からお申し込みください。
(<https://Fukushima.ubinavi-plus.com/yb/page/ybSurvey.php?hidReportList=RPT0000149>)



QRコードからもお申し込みが可能です。

9 申し込み期限
令和6年11月20日(水)

10 プログラム(予定)

- (1) 挨拶
- (2) プログラム説明
- (3) 自己紹介
- (4) シミュレータを用いたバイタルサインの学び直し

講師 東京薬科大学 薬学教育推進センター 別生伸太郎 氏
一般社団法人福島県薬剤師会地域包括ケアシステム推進委員会

- ・薬剤師がバイタルサインを測定する意義(講義) (15分)
- ・生体シミュレーター体験 (20分)
- ・循環器の評価(脈と血圧の測定練習) (55分)
(休憩20分)
- ・症例検討 (70分)
- ・症例解説・質疑応答 (20分)

(5) 閉会

11 その他

研修修了者には、研修受講証明書を交付します。
若干プログラム内容が変更となる場合があります。

担当：福島県保健福祉部薬務課 神田
電話 024-521-7233
メール yakumu@pref.fukushima.lg.jp